



糖尿病患者さんと医療スタッフのための情報サイト

糖尿病ネットワーク

Diabetes Net.
生活エンジョイ物語

医療関係者向け
糖尿病リソースガイド

メルマガ登録

トップページ ニュース 学会・イベント 談話室BBS 糖尿病のき 特集 データベース

医療・健康情報
グループ
検索

ジントほんス

ネットワークアンケート

SMBGとCGMのメリット・デメリット

SMBG（血糖自己測定）とCGM（持続グルコース測定）は、それぞれを上手く使い分けることで、効果的な血糖管理が期待できます。今回、インスリン治療中の糖尿病患者さん252名を対象に、SMBGとCGMのメリット・デメリットに関するアンケートを実施しました。

今回のアンケート調査では、多くの自由回答（ご意見）をお寄せいただきました。「アンケートでの自由回答はこちら▷患者さんのほんね！」もご参照ください。

<ご報告> 今回のアンケートでは、252名にご回答いただきました。糖尿病ネットワークより、国際糖尿病支援基金にお一人50円分、合計12,600円の寄付を行いましたのでご報告申し上げます。ご協力ありがとうございました。

TOPICS

- ✓ 現在、CGMを主として使用している方は58.3%、SMBGは32.9%
- ✓ SMBGのメリットは「正確な血糖値の把握」「医療費が安い」
- ✓ CGMを使用する目的は「血糖変動を知りたいから」「低血糖予防」「インスリン単位調整」
- ✓ CGMをやめたいと思う理由は「医療費が高い」「装着感」「他人に見られることが気になる」
- ✓ SMBGとCGMを併用するとの回答は75.5%。一方、CGMだけでよいとする回答も24.5%



カテゴリーから探す

治療・薬・インスリン

血糖管理・食事・運動

合併症やその他の病気

暮らし・お金・保険

すべてをみる

新着ニュース

【11月14日は世界糖尿病デー】世界の5億人超が糖尿病

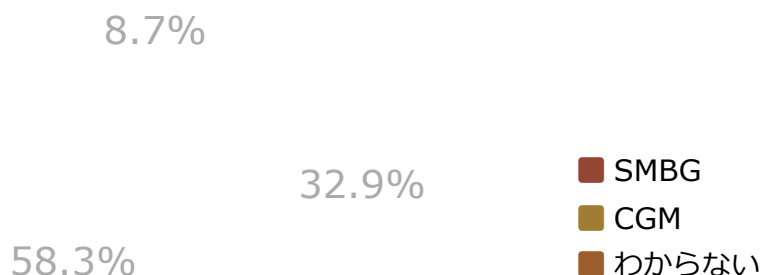
現在、CGMを主として使用している方は58.3%、SMBGは32.9%

今回の調査では、まず最初に、ご参加いただいた252名の糖尿病患者さんに、現在血糖値を確認する手段として、SMBGとCGMのどちらを主に使用しているかを伺いました。その結果、SMBGを主に使用している方は32.9%（1型27.3%、2型47.2%）、CGMを主に使用している方は58.3%（1型69.3%、2型30.6%）という結果でした。

年代別では、SMBG/SGMそれぞれ、20代未満 12名(8.3%/91.7%)、30代 14名（33.3%/60.0%）、40代 29名(41.4%/58.6%)、50代 65名（29.2%/61.1%）、60代 71名(32.5%/56.3%)、70歳以上 39名（40.9%/47.7%）という結果で、どの年代でもCGMを主に使用という方が多い結果でした。

本設問後に、主にSMBG使用と回答された83名、主にCGM使用と回答された147名（計230名）に分けて、アンケートにご回答いただきました。

Q. あなたは日常生活の中で血糖値を確認する手段として主にSMBGとCGMのどちらを用いていますか？（両方使用している方は、主に使用している方を選んでください） n=252



SMBGのメリットは「正確な血糖値の把握」「医療費が安い」

主にSMBGを使用している方に、SMBGのメリットを聞きました。回答の上位は、「正確な血糖値の把握」「操作が慣れている」「医療費が安い」という結果でした。そして、1型、2型の患者さんとも8割以上の方が、SMBGの使用を継続したいと回答しました。

一方、SMBGを継続したくないと回答した方に自由回答で理由を伺ったところ、「痛いから／測定が面倒／針を刺した部位が硬くなる。外出先で目

「妊娠糖尿病」が増加 食事と運動に取り組み予防・改善

チーズが糖尿病リスクを減少 朝に食べると血糖管理が改善

糖尿病の人は脳卒中リスクが高い こうすれば脳卒中リスクは減少

通勤時のウォーキングが糖尿病リスクを減少 アクティブ通勤

おすすめニュース

糖尿病性腎症がわかる特集『腎臓の健康道』を公開

【座談会】先生たちのSAP体験談2 インスリンポンプの新機能を使って

インスリン療法（BOT）についての実態調査－注射量の調整に不安－

インフルエンザを防ぐ最善の方法は「ワクチン接種」

糖尿病とともに生きる 糖尿病は人生の妨げにならない

が気になる、指先が慢性的に荒れる、持ち歩くのが面倒」といった理由が挙げられました。

Q. SMBGが良いと思うところはどのようなことですか？

(複数選択) n=83

正確な血糖値が把握できる	54.2%
操作が慣れている	42.2%
医療費が安い	32.5%
災害時など、電気の供給が不安定な状況でも使用できる	16.9%
その他	1.2%

Q. あなたはこれからもSMBGを使用したいですか？ n=83

はい	81.25%
いいえ	18.75%
	14.70%

■ 1型糖尿病 ■ 2型糖尿病

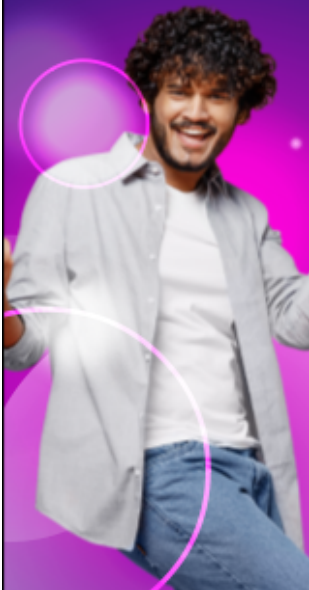
**CGMを使用する目的は「血糖変動を知りたいから」
「低血糖予防」「インスリン単位調整」**

次に、CGMを主に使用している方に、CGMの使用目的を聞いたところ、回答の上位は、「血糖変動を知りたいから」「低血糖の予防」「インスリン



クライアントを勝ち取る。
成長速度を上げる。
Semrushで実現しよう。

このページのTOPへ▲



情報ファイル

腎臓の健康道

血糖トレンドの情報
ファイル

インスリンポンプ情
報ファイル

グリコアルブミン情
報ファイル

1型ライフ

糖尿病リソースガイ
ド
(医療従事者向け)

おすすめコーナー

の単位調整」という結果で、CGMのメリットとしてよく周知されているものが上位に挙げられました。

Q. あなたがCGMを使用している理由は何ですか？

(3つまで選択) n = 147

血糖変動を知りたいから	78.2%
低血糖の予防のため	55.1%
インスリンの単位調節に役立つから	38.8%
SMBGより手技が簡単だから	35.4%
医師に勧められたから	24.5%
治療薬（インスリンや経口薬）の効果確認のため	20.4%
SMBGだと指先穿刺が痛いから	18.4%
CGM自体に興味があったから	4.8%
その他	3.4%

糖尿病のアプリ・ツール

糖尿病3分間ラーニング

糖尿病の医療費・保険・制度

このページの
糖尿病患者さんの病院検索

ネットワークアンケート

国際糖尿病支援基金



CGMをやめたいと思う理由は「医療費が高い」「装着感」「他人に見られることが気になる」

一方、CGMをやめたいと思うときがあるかと聞いたところ、回答の1位は「医療費が高い」、次いで「装着感」「他人に見られることが気になる」というものでした。その他の理由としては、「皮膚トラブル」「夜中でもアラームが発生する事の睡眠不足」「装着や有効期間を気にするのが手間」などが自由回答で挙げられました。

Q. CGMの装着をやめたいと思うことがありますか？

(3つまで選択) n=147

やめたいと思わない	53.7%
医療費が高い	37.4%
装着感が気になる	25.9%
入浴や運動などのときに他人に見られることが気になる	18.4%
災害時など、電気の供給が不安定なとき*	11.6%
常に血糖値を見れることが負担になる	5.4%
SMBGの方が操作に慣れている	1.4%
その他	9.5%

このページの
TOPへ ▲

*災害時など、電気の供給が不安定なときに血糖値を確認できなくなる不安がある

SMBGとCGMを併用するとの回答は75.5%。一方CGMだけでよいとする回答も24.5%

CGMを主に使用している方にCGMとSMBGとの併用に関して伺いました。CGM装着中にSMBGを使用するときの理由の上位は、「CGMの測定値に疑問があるとき」「較正を行うとき」「定期的でSMBGを測定している」という結果でした。

一方、CGM装着期間中、1日のうちにSMBGを1回も確認しないという方も15.6%いました。そして、SMBGとCGMの併用については、75.6%（1型77.0%、2型68.2%）の方は併用したいと回答し、24.5%（1型23.0%、2型31.8%）の方はCGMだけでよいとの回答でした。

Q. あなたがCGM装着期間中にSMBGを使用するのはどんな時ですか？（3つまで選択） n=147

このページの
TOPへ ▲

CGMの測定値に疑問があるとき	71.4%
CGMの校正を行うとき	32.7%
定期的にSMBGを測定している	24.5%
CGMのアラームが発生したとき	23.8%
使用していない	8.2%
車の運転前	0.7%
その他	12.9%

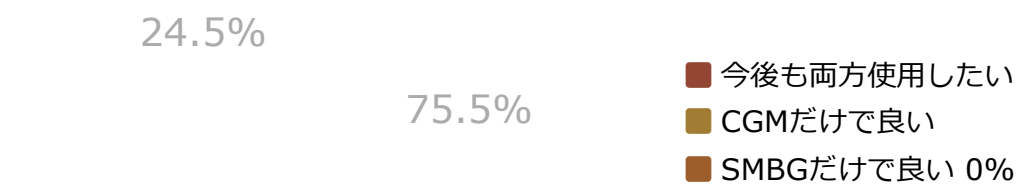
Q. あなたはCGM装着期間中、1日の中で何回程度SMBGを用いた血糖測定を行いますか？ n=147

CGMの測定値に疑問を感じたとき（不定期）	44.9%
SMBGでの測定はしない（0回）	15.6%
1回	12.9%
2回	4.8%
3回以上	21.8%

Q. あなたはCGMとSMBGを併用することをどう 思いますか？

n=147

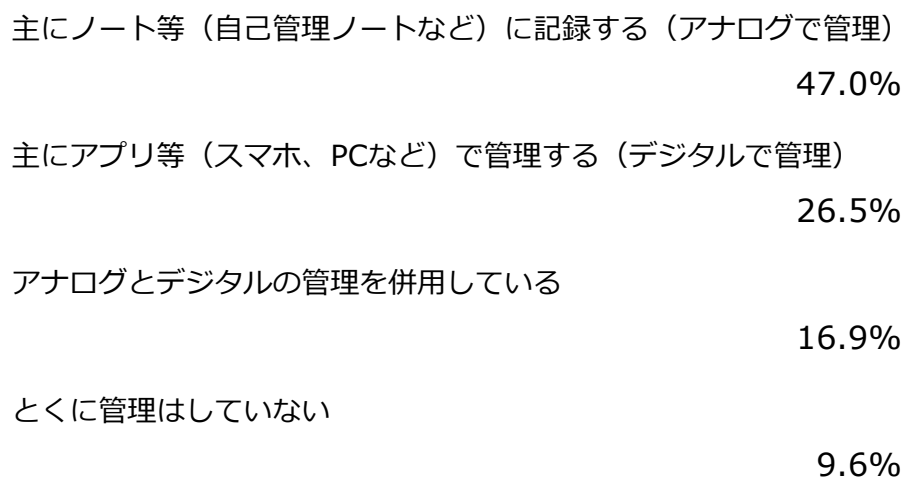
このページの
TOPへ ▲



その他のアンケート結果

Q. あなたは測定した血糖値をどのように管理していますか？

(主にSMBGを使用と回答した方) n=83



Q. CGMを装着したきっかけは何ですか？

(主にCGMを使用と回答した方) n=147

1.4%

36.1%

62.6%

- 医師および医療関係者からの勧め
- 自身での希望
- わからない

このページの
TOPへ ▲

まとめ

今回の調査結果について糖尿病専門医に感想を求めました。アンケートの結果は、「おおむね自施設の患者さんの声と同様であるが、CGM装着中まったくSMBGを測定しないという方が15.6%という回答は、血糖測定を導入する際にCGMから入った患者さんが、そのような回答をしているのではないかと指摘しました。

インスリンの導入にかかわらずSMBGを指導しているとする本専門医は、SMBGを指導する際には、「糖尿病は症状が少ない病気ですが、血糖値の変化は一つの症状といえます。患者さんが血糖値を測ることで、自分の症状を把握できることを説明する」。また「最近CGMを勧めることが多くなっていますが、CGMの数値を鵜呑みにせず、また災害時などの不測の事態で困ることがないように、SMBGの手技をしっかり身につけたうえで、CGMに移るのがよい」と、SMBGとCGMの併用の重要性を指摘しました。



アンケートでの自由回答は**こちら**▶

患者さんのほんね

<調査概要>

実施時期：2024年 3月

調査方法：インターネット調査

対象：「糖尿病ネットワーク」メールマガジン会員

協力：株式会社三和化学研究所

<回答者の属性>

インスリン治療中の患者さん252名（1型糖尿病176名、2型糖尿病72名）

痛くない血糖値測定器

広告 Beauty & HealthResearch

たんぱく質27gおいしく 完全栄養

広告 ベースフード

Get Ready to Get in Shape

広告 Able App

木造アパート入居者募集中

広告 株式会社 殖産工務所

自宅に届く冷凍ごちそう便

広告 nosh - ナッシュ

居抜きで飲食店をスピード 開業

広告 居抜き店舗ABC

6ヶ月飲用で骨密度アップ を確認

広告 雪印メグミルク

血糖値に悩んでいる方、 必見

広告 健康Life

クリニック専用の 精算機

広告 NOMOCa-Stand

※ヘモグロビンA1c（HbA1c）等の表記は記事の公開時期の値を表示しています。

Copyright ©1996-2024 soshinsha. 掲載記事・図表の無断転用を禁じます。

治療や療養についてかかりつけの医師や医療スタッフにご相談ください。

いっしょに考える

おいしい甘さで
カロリーゼロ

FreeStyleリブレを
ご使用の皆様へ

いのちをつなぐ
SARAYA

砂糖のかわりに
甘酒使用

